

## 三好市の総面積の87%が森林です

三好市の森林は戦後植林された杉・檜がほとんどであり、植林後50〜60年となり、木材として使える時期を迎えています。これまでの木を育てる時代から木を伐採、搬出して木材を利用する時代へと移り変わるうとしていきます。

地同様、早急に対策をお願いしたい。猟師の高齢化や人数が少なくなってきたのは知っているが捕獲を進めてほしい。

▼林業専用道の整備を急いでもらいたい。

▼川下側である私達（木材小売り業）もできる限り、消費者に届けたいと思っているが、消費者の方々がもう少し地元の木材に興味を持ち、使ってみたいと思うようなPR活動があればいい。

▼①関税を高くすることによって、外材の輸入量を制限する。（関税無税のTPP加盟はダメ）、②林業業者（三好市305人、平成19年1月末現在）の大量増員を図る。そのため、就業援助金として、月額15万円を出す。それは人口や雇用の増加、限界の森林救済のために、今できる唯一の方策である。同時に、「環境」課題（温暖化防止、環境保全・清浄化）に貢献できる。

▼近年多くなった集中豪雨が、林業専用道の荒廃状況を加速させ車を入れることが出来ないところが多く

# 育てる林業から森林を活かす林業へ

昨年、市報みよし10月号の紙面において林業振興施策を募集いたしましたところ、貴重なご意見をいただきました。そこで今回、いただいたご意見の中から、一部抜粋、要約してご紹介いたします。

▼市内加工業者の設備・得意分野を持ち寄った新製品の開発と県内（あるいは香川、東予地方）の市場と連携し、各市場での相場が把握でき

る情報システムの整備により、木材の融通体制の拡大を図ること。

▼全体的に間伐が遅れているので、森林組合などと協力して間伐の実施を推進してほしい。そのため積極的に森林施業できるように作業道も整備してほしい。また、仕事で山奥に入ることがあるが、シカの被害が非常に拡大している。イノシシやサルの被害を受けている農



域の自然の美しさなどが高いレベルであれば、十分に市場で勝ち抜くことができるのではないかと。とくに三好市は自然の美しさは他の地域に比べても引けを取らないものがあり、販路を開発するとともに、三好市の自然の素晴らしさ、美しさを広くPRしていく戦略も必要になってくる。

また産業自体が軌道に乗ってくれば、長期的かつ大量な供給にも対応できる生産体制を整えることも視野

に入れて、林業に携わる人をもっと増やしていく政策を考えていくことも必要になってくるのではないかと。世界を市場に大きな商売ができるとなれば、魅力的で将来性のあるビジネスになり得るので、若い人たちの就労にも繋がってくるのではと思う。

平成24年度から森林環境保全直接支援事業が本格的に実施されることから、雇用拡大を目的に木材利用を中心とした、次の林業振興施策を実施します。

## 三好市が取り組む今後の林業施策

### 具体的な取り組み

- 総合計画として、市町村森林整備計画を作成する。（平成24年4月1日公表）
- 面的にまとまりのある団地（おおむね30〜300ha）を設定し、集約化した森林経営計画を立て計画的に森林整備を行うため、森林環境保全直接支援事業を実施する。
- 団地の集約化と森林経営計画策定を推進するため、フォーレスター（長期的視点に立った森林づくりの計画や指導ができる技術者）や森林施業プランナー・オペレーターなどの育成を行う。
- 木材利用の拡大を図るため、素材生産機械や作業道などの整備を進める。



### プランナー養成講座



森林環境保全直接支援事業が本格実施されることから、持続的な森林経営に向けた取り組みを推進するため、現地調査・森林所有者への説明会など森林経営計画を策定するプランナーの研修講座を新年度において開講いたします。

お問い合わせ先  
三好市林業振興課  
電話 72・7618

なっている。これでは搬出間伐ができない。既設の林業専用道についても、車による搬出が可能な状況にするように三好市林業振興計画の中に位置づけ、予算化し早急に実施してほしい。

▼マツタケ増産対策。（将来的にはこれが一番儲かると思います）

▼山を代採する時、尾根筋を残して代採（広葉樹を残すなど）すれば、山全体がおもしろい景観美を持った特色のある山づくりができ、観光面においても頼もしくなる。

▼海外では日本式の建物が流行っていると聞きました。そこで、三好市の豊富な森林資源を海外に向けて輸出してみたらどうか。もし商売になるのであれば、すでにこういった取り組みをしている他の地域などにとつて三好市は、新規参入という形で市場に戦いを挑む立場となる。そういった状況において競争力を発揮するには、高品質のほかに、産地自体が持つブランド力が必要になってくると思う。産地が持つブランド力（地

## 森林・林業再生プラン意見交換会

平成24年2月24日、三好市林業総合センターにおいて、「育てる林業から利用する森林づくりへ」をテーマとして、県内や香川県より建築設計関係者と林業関係者などによる意見交換会が開催されました。

意見交換会では、森林・林業再生プランの内容や三好市の森林整備の考え方や計画などについての説明があり、その後、木材利用に関した川上と川下の考え方の違いや情報交換などを行いました。また、現地視察として木造建築物（ラピス大歩危）を視察しま

